

—CEATEC JAPAN 2012 電子情報通信学会 東京支部シンポジウム—

様々なセンサデバイスや通信機器がグローバルにインターネットサービスを介して連携する「M2M ネットワーク」や、このセンサ・ソーシャルメディアなどから得られる大量情報によって構成される「ビッグデータの活用」が、将来の知識情報社会におけるインフラ基盤の一つとして注目が集まっています。そして、この ICT・ネットワーク技術によってエネルギー管理、環境モニタリング、医療、交通、物流、ヘルスケア、農業、防犯/セキュリティといった広範なアプリケーション/サービスが実現し、私たちの社会生活が大きく変わると期待されています。

一方、実際に導入したときに具体的に享受できるメリットや市場規模など、実用化に向けて研究開発以外の課題が顕在化しています。

また、「社会基盤としての ICT」として活用する場合、個別の事業者が全ての構成要素を構築する垂直型ビジネスモデルでの実用化にも限界があり、どこかのタイミングで各要素に特化した企業が提供するという水平型に移行するといった新たなプラットフォーム議論も活発に行われているところです。

本シンポジウムでは、「M2M ネットワーク」や「ビッグデータの活用」を「社会基盤/エクスペリエンスとしての ICT」といった視点から俯瞰し、国際競争力強化も見据えた実用化やプラットフォーム構築の課題や対応策についての議論を行います。

第1部では、まず、「ICTのトレンドとビッグデータの位置づけ」を解説頂き、「ビッグデータの活用」及びこれを支える「M2M ネットワーク」を構成する技術要素の現状の取組み及び実用化に向けた課題について、各分野の第一線で御活躍されている方々をお招きし、御講演頂きます。

第2部では、知識情報社会を実現するために、水平型で展開するような M2M 構築とビッグデータの活用に向けて、私たちは「今何をすべきか」について、パネルディスカッションを行います。

日 時：2012年10月5日（金） 13:00～17:00

会 場：国際会議場3階 304会議室

テーマ：M2M ネットワークとビッグデータの活用

第1部 講演の部（13:00～15:15）

13:00～13:05 開会挨拶

鈴木 博氏 電子情報通信学会東京支部支部長、東京工業大学大学院理工学研究科教授

13:05～13:35 ICTのトレンドとビッグデータの位置づけ（講演25分、質疑5分）

鈴木良介氏（株）野村総合研究所 ICT・メディア産業コンサルティング部主任コンサルタント

13:35～14:05 リアルタイム解析によるビッグデータの活用（講演25分、質疑5分）

岡野原大輔氏（株）Preferred Infrastructure 取締役副社長

14:05～14:15 休憩

14:15～14:45 M2M クラウドへの取組みと課題（講演25分、質疑5分）

奥屋 滋氏 日本電気株式会社キャリアサービス事業本部副事業本部長

14:45～15:15 M2Mにおける無線通信デバイス分野の取組みと課題（講演25分、質疑5分）

高橋和晃氏 パナソニック株式会社東京 R & D センター通信コアデバイス開発センターエキスパート

15:15～15:30 休憩

第2部 パネルディスカッション（15:30～17:00）

15:30～15:45 M2M と General Purpose Technology

森川博之氏 東京大学先端科学技術研究センター教授

15:45～16:00 ICT分野の国際競争力強化に向けた M2M・ビッグデータの活用（仮題）

布施田英生氏 総務省情報通信国際戦略局通信規格課長

16:00～17:00 パネルディスカッション

知識情報社会の実現に向け、今「M2M 水平型プラットフォーム」と「ビッグデータの活用」に必要な活動は何か

・座長

森川博之氏（東京大学先端科学技術研究センター教授）

・パネリスト

布施田英生氏（総務省情報通信国際戦略局通信規格課長）

鈴木良介氏（株）野村総合研究所 ICT・メディア産業コンサルティング部主任コンサルタント）

岡野原大輔氏（株）Preferred Infrastructure 取締役副社長）

奥屋 滋氏（日本電気株式会社キャリアサービス事業本部副事業本部長）

高橋和晃氏（パナソニック株式会社東京 R & D センター通信コアデバイス開発センターエキスパート）